



カンムリウミズメ

門川町教育研究所

ふれあい

平成22年10月NO5
発行 門川町教育研究所
所長 斉藤 義輝
TEL 63-1566
五十鈴小学校内(教育相談室)

2学期を、勉強の秋にしましょう！

今年の夏は異常な猛暑で、これまでは、暑くて、暑くて勉強どころではないという感じでした。やっと、涼しくなって、秋らしくなりました。秋は、食欲の秋、スポーツの秋、読書の秋などいろいろな秋がありますが、勉強の秋も忘れないようにしましょう。そこで、今回は、勉強ができるようになるための親の大切な役割について、教育研究所からのおすすめアイデアなどを紹介します。

子どもの家庭学習を支える、親の3つの役割とは？

- 役割1 子どもの規則正しい生活と学習をしっかり支えましょう。
- 役割2 自信をなくしたり、不安をもったりする子どもを応援しましょう。
- 役割3 学習する雰囲気や条件、環境をしっかりつくりましょう。

役割1 子どもの規則正しい生活と学習をしっかり支えましょう。

家庭は、一家団らんの場です。子どもは学校から帰ってほっと一息をつき、ゆっくりしたい気持ちになります。そのために、規則正しい生活や学習習慣を育てるには大変難しい場であると言えます。そこで、大切なのが親の役割です。親は、子どものペースメーカーになって、子どもの生活をしっかり支えなければなりません。



勉強せんからこんな点数をとるとじゃが、早く勉強せんね！

怒るだけでは、親の気はすんでも、子どもは勉強するようにはなりません。3つの工夫を参考にして、うまくリードしてください。



家族ぐるみで

子どもは、親の生活を見習って生活しています。子どもだけをがんばらせるのではなく、親もいっしょにがんばる姿を見せましょう。子どもが勉強しているときは、何か本でも読みましょう。

親子の会話で

悪いときはありません。こそチャンス。食事の時間にも語りかけ待することを、にすり込むよ

機会あるごとに

テストのあるときだけろうるさく言っても効果はありません。宿題は出た？ テストがあるね！ 今日の勉強は何だった？ など、チャンスをとらえて勉強のほうに導きましょう。

役割2 自信をなくしたり、不安をもったりする子どもを応援しましょう。

子どもの不安は、親がしっかり聞くことで、90%以上解決します。



いつも勉強せんから、自信がないっやが。勉強せんね！

子どもはいろいろな不安を持っています。そんな時は、子どもの気持ちによりそって、心の支えになることが大切です。



親は子どもの応援団

親は子どもの一番の応援団です。よいところをほめ、足りないところを応援して、子どもが困難を乗り越える力を育てましょう。

子どもの年齢に応じて手を貸したり、教えたり、見守ったりすることが大切です。

親は子どもの相談相手

子どもの一番大切な相談相手は親です。親が経験したこと、歩んできたことについて、成功したことも、失敗したことも、子どもに話してやりましょう。

それが不安をかかえながら成長する子どもの、大切な道しるべになります。

役割3 学習する雰囲気や条件、環境をしっかりとつくりましょう。

家庭の学習雰囲気は、親で変わります。家庭に学びの雰囲気をつくりましょう。



今日は、気がちらずにすいすい勉強ができるなあ～！

気になることを取り除いて、安心して勉強することができるようにしておくことが大切です。



勉強場所を決める

小学校低学年では親の近くの食事のテーブルで、高学年や中学生では自分の部屋などで、勉強場所を決めておくことが大切です。

できるだけ遊ぶ場所と切り離して、勉強できる雰囲気、環境をつくるようにしましょう

勉強時間をつくる

家庭であれこれしていると、いつの間にか勉強時間がなくなってしまいます。

そこで、食事の時間、お風呂の時間、テレビの時間などのメリハリをつけ、勉強時間を生み出してやるようにすることが大切です。

教育研究所からのメッセージ

家庭学習は、学校での授業とともに、学力を生み出すための大切な両輪です。これを子どもに任せっぱなしにするのではなく、成長に応じていろいろな関わり方を工夫しましょう。親の3つの役割をしっかり果たすことが、子どもの豊かな成長につながります。

子育てや教育のことなどで、悩んでいませんか？

困った時、迷った時は、
教育相談室に気軽に電話をしてください。

相談電話（門川町教育相談室）

63-1566

~~~~~返信欄（教育研究所便り「ふれあい」へのご意見や感想をお聞かせください。）~~~~~